令和４年度霧が丘高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、公務外非行を未然に防止する。	・記者発表や新聞記事などの具体的な事例を通して、日常的に意識啓発に努めた。 ・自己点検等を実施して、個々の職員が法令遵守（コンプライアンス）の意識を高めた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	人権に配慮し、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	・職員対象の研修を実施し、職員一人ひとりの人権意識を高め意識喚起を図ることができ、発生件数ゼロを達成できた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切指導の発生を未然に防止する。	・職員対象の研修を実施し、職員の人権意識を高めることができ、発生件数ゼロを達成できた。
入学者選抜業務における事故の防止	入学者選抜における事故を未然に防止する。	・マニュアルを基にした研修を実施するとともに、チェック体制を整備して点検の精度を上げ、事故を未然に防止した。
成績処理及び取扱いに係る事故防止	成績処理に係る確認作業を適正に行い、事故を未然に防止する。	・職員対象の研修を実施し、業務実施時には各段階の注意点を明示した。さらに管理職による注意喚起を重ねて行い、事故を未然に防止した。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	進路関係書類の作成・取り扱いにおいて適切な業務遂行の体制を整え、事故を未然に防止する。	・マニュアルを整備し、職員対象の研修を実施した。業務遂行においての点検は複数の目で、複数回確認を行い、点検の記録を徹底することで、事故を未然に防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止するとともに、各種情報の管理を徹底する。	・職員対象の研修を実施し、自己点検を行った。 ・外部記録媒体の管理を貸出簿で行い、定期敵にチェックした。 ・個人情報を持ち出す際には所定の手続きを徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い、酒気帯び運転の発生をゼロにする。	・年末年始の時期に、飲酒（酒気帯び）運転に関する職員啓発資料で職員全員を対象に注意喚起を行った。
業務執行体制の確保等	業務執行を適正に行い、生徒の進学・就職・奨学金などの出願資格の見落としや書類記載ミスに係る事故を未然に防止する。	・学年と所轄グループとの連携を深め、チェック体制の整備を図った。 ・進行管理のもとに起案・決裁を確実に行った。
会計事務等の適正執行	会計事務を適正に行い、事故を未然に防止する。	・「私費会計の手引き」を整備し、会計監査、財務事務調査での指摘事項や指導事項等を参考に、私費会計基準に則った会計処理を行った。

○　令和４年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和５年度に取り組むべき課題
（学校長意見）

【不祥事ゼロプログラムの達成状況】

定例の職員会議前の時間を利用して、教頭から「不祥事ゼロプログラム」に係る研修を実施している。毎回、職員は自己点検を丁寧に行っている。

◆11月職員会議において、不祥事防止について、次のような点を指摘させていただいた。

不祥事防止について

（１）令和４年度　処分事案（11月17日現在）

・５件うち２件はわいせつ事案。

（２）「神奈川県教育委員会　令和４年度不祥事防止取組方針」（１～11ページ）配付

（３）「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が令和４年４月１日に施行された。資料を配付。

◆日ごろより、校長から職員へ伝えていること

①不祥事を他人事ではなく、自分事として捉える。

②子どもたちに説明ができないことは絶対にしない。なぜ、教師になろうと思ったのか、初心に立ちかえる。

③不祥事を起こしたら、すべてを失います。

【令和５年度に取り組むべき課題】

◆「部活動指導における体罰及び不適切な指導の根絶に向けた取組について」（通知）が２月８日に発出されたことについて　部活動における不適切な指導についての啓発を行う

・１年以上にわたって繰り返し体罰が行われてきた。

・複数顧問がいて、気づきがありながら、報告ができていない。

・早期に判明していたにもかかわらず、動く（防ぐ）体制づくりができていない。

・これは、該当校のみの問題ではない。

・通知の内容４点を職員へ周知、共有しておく。

①部活動指導に関する基本認識について

②教職員への体罰及び不適切な指導の根絶に向けて

③生徒等への学校の部活動に係る活動方針等の理解促進について

④保護者等への学校の部活動に係る活動方針等の共通理解について

以　上